

## みてアート あおぞらイコバ 展示要項

### テーマ

#### 「交差から交流」

あおぞらイコバは大きな国道交差点近くに位置し、毎日、阪神間を行き来する乗用車やトラックの交通量が多いところです。そして国道に交差し、道路を隔てた建物向かい側には、緑陰道路が現在整備されています。工場で汚染された河川が埋め立てられて、緑陰道路に整備されていますが、かつては、舟運や治水などに利用されてきた地域の要路です。現在では、車の動線と散歩道としての人の動線が立体交差し通過するだけに留まっていますが、本来、人やモノがこの場所で交流するエネルギーで新しい価値が生まれる所であると感じます。

西淀川地域が公害汚染から環境問題へと課題の視点に移りゆくことを背景に、この場所の持つ意味もアートの表現力によって新たな価値に変化していくことになるのだと期待しています。

### 展示方法

この展示場所は日常フリースペースとして利用され、写真、絵画など展示、小コンサートや会議場所、更には、即売などのバザースペースといった幅広い利用がされています。スペース内を使って展示方法は出展者の自由ですが、今までの展示から以下のようなものが想定できます。

- ・壁：写真・絵画パネル展示
- ・空間全体を使ったインスタレーション
- ・窓際のスクリーンを利用した映画の上映やデジタルアートの投影

外壁側への展示希望も受け付けますが、全天候や管理の問題は各自、お気をつけ願います。また、展示空間内への直接の加工やペイントなどはご遠慮頂きます。随時展示物の設営や固定の仕方など相談に応じます。

### 定員

2～3名程度

空間の大きさから2～3名程度をイメージしていますが、募集の状況や出展物の大きさ等で増減することを予めお伝えします。



外観北西角より



外観東側より



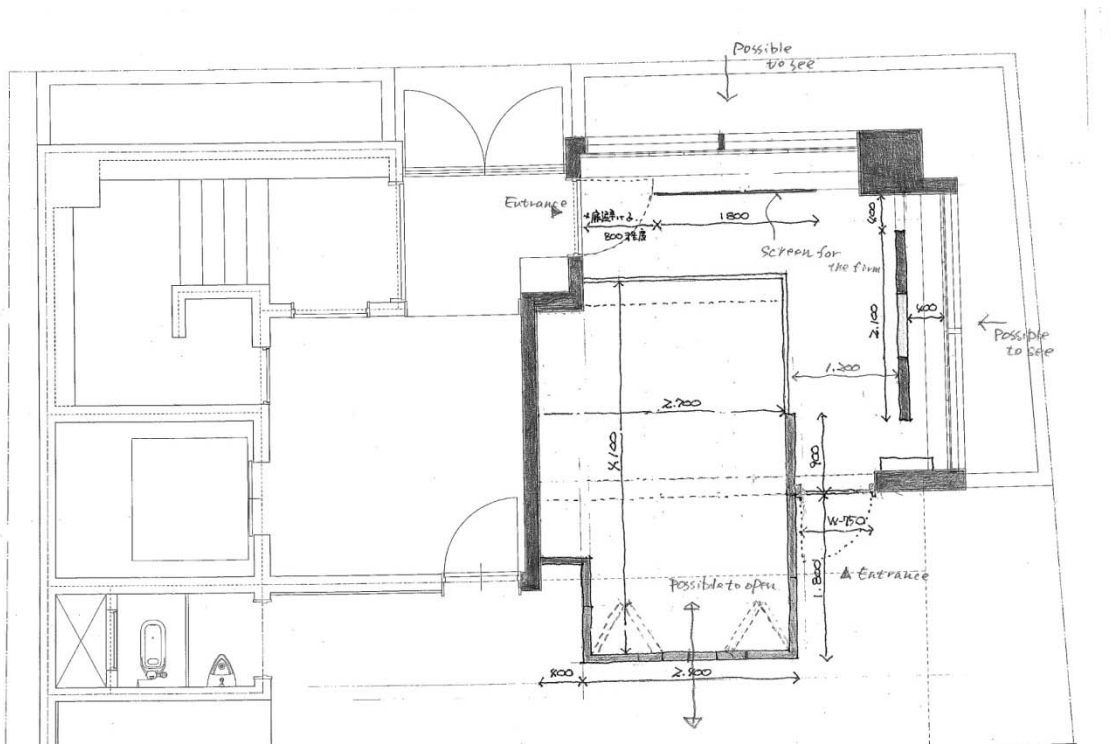
室内より南面を見る



室内より南面を見る



室内より北面を見る



展示スペース平面図